



医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院

院長代行・腎臓病総合医療センター長 小林 修三

1. 病院紹介

1988年に鎌倉に開設され、2010年に新築移転し、現在病床数658床（稼働病床629床）のDPC特定病院群（旧II群）になります。腎臓病診療については、腎免疫血管内科・血液浄化部・腎移植内科・腎移植外科から成る腎臓病総合医療センターが行っています。病院は地域の生活と文化の中心でなくてはならないと考え、院内コンサートを隔月で行い、地域の方々との交流も深めています。



藤沢男声合唱団を迎えての院内コンサート



病院外観

医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1

URL: <https://www.shonankamakura.or.jp/> (病院)

URL: <https://www.sk-kidney.com/>

(腎臓病総合医療センター)

を調査し、遂行機能の確認を行います。経時的に認知機能の評価をOT・STが行い、運動機能との関連などを調べています。

2. 腎臓病総合医療センター紹介

腎炎・膠原病・高血圧症・糖尿病性腎症や保存期腎不全から、すべての腎代替療法の導入および維持治療を行っています。血液浄化センターは57床あり、新規血液透析導入は年間70名、維持血液透析患者数は160名、そして様々な合併症で当院に入院している血液透析患者の維持透析治療を毎日約20名治療しています。家庭透析も行っております。腹膜透析は毎年15名前後が新規導入となり、腹膜透析登録患者は約60名です。腎移植は2012年12月の開始から2020年4月までに115例の腎移植術を行っております。

3. 腎臓リハビリテーションの取り組み

腎臓病診療は、医師だけでなく、理学療法士（PT）や作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、管理栄養士、薬剤師、医療ソーシャルワーカーがカンファレンスや回診に参加し、包括的診療を行っているのが当センターの特徴です。入院患者の約50%にリハビリ処方され、入院から処方までの平均日数は2.3日です。入院当初から積極的にPT・OTがかかわりADLの維持・向上に努めることが、在院日数の短縮化、入院後の転倒事例減少に寄与しています。腎代替療法を導入する患者にはMoCA-J

4. 血液透析前の運動療法

2016年より透析前の運動療法を開始しています。患者待合室にて座位でのエルゴメーターを使用した有酸素運動、セラバンドを使用した筋力トレーニングを行っています。運動療法によりTime Up and Go Testは末梢動脈疾患（PAD）の有無にかかわらず改善しました。大腿四頭筋筋力は、PAD合併患者群では改善が得られず、課題があると感じています。



血液浄化センター待合室での透析前運動療法